

令和5年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

優秀賞

姫路市

(姫路市安田四丁目1番地)

受賞者の
取組

「鉄道駅周辺整備プログラム」による 駅環境の一体的なバリアフリー化への取組

姫路市は、市内各駅の整備すべき内容や改善すべき項目を盛り込んだ「姫路市鉄道駅周辺整備プログラム」(平成28年6月、令和3年3月改訂)を策定し、これに基づき、鉄道事業者と複数の駅周辺整備をパッケージで協議を行うとともに、駅ごとに駅周辺まちづくり協議会を開催して地域住民や鉄道事業者と意見交換を行い、より効果的な駅周辺整備とバリアフリー化を進めている。

現在、32駅のうち半数以上の駅が整備済及び事業中であり、残りの駅についても順次整備に着手できるよう鉄道事業者と協議を進めている。

近年では、大塩駅(山陽電鉄)周辺、太市(おおいち)駅(JR)周辺、飾磨(しかま)駅(山陽電鉄)北改札口が、このプログラムにより整備された。中でも、老朽化が進んでいた太市駅の無人駅舎について、姫路市がコーディネーター役となり、官民および地元自治会で「姫新線太市駅周辺地域の賑わいづくりに向けた連携協定」を締結し、都市計画となる「太市駅周辺地区地区計画」を策定した。これにより、駅舎(設備)を適切な規模へと建て替え、民間誘致により新社屋に駅関連施設を併設、駅前広場を整備し、無人化駅の関連施設等に関するサービスの向上を図った。

太市駅周辺の整備

民間社屋



大塩駅周辺の整備

バリアフリートイレ



身障者乗降場



飾磨駅北改札口に伴う整備

エレベーター



歩道



講評

姫路市では、移動手段を容易に確保できない人々のために、鉄道駅やその周辺のバリアフリー化に取り組んでおり、特に単独では自ずと限界がある取り組みも、行政・鉄道事業者・地元・地元企業が連携し、バリアフリー化を推進した例もあり高く評価できる。またバリアフリー化にとどまらず、カフェやイベント等地域の活性化やにぎわい創出の二次的効果を狙ったことも評価したい。整備済みの事例として、山陽電鉄大塩駅とその周辺、JR姫新線太市駅とその周辺、山陽電鉄飾磨駅とその周辺があるが、事前に地元住民等の要望を収集したうえで計画を策定し、関係団体と協議・調整しながら進めているため、今後も地域の要望等に沿った鉄道駅やその周辺のバリアフリー化の推進に期待したい。